

令和7年度 やさしい日本語講座

開催日時： 令和7年11月6日（木） 13:00～16:00

会場： あいち国際プラザ アイリスルーム

講師： ^{やつしるあきえ}八代明恵 氏(『入門・やさしい日本語』認定講師)

参加者： 医療・福祉分野の従事者(保健所、発達障害支援関係含む)
日本語ボランティア入門講座受講者
申込者26名/参加者20名

主催：(公財)愛知県国際交流協会 交流共生課 交流共生担当

令和7年度やさしい日本語講座（2回目）「今日からできる！やさしい日本語の伝え方 実践編～医療・福祉分野～」を開催しました。



講師の八代明恵氏

地域の外国人住民が増加・多様化する中で、医療・福祉の現場では、専門用語や制度の違いから生じる「伝わらなさ」が大きな障壁となるため、やさしい日本語を活用したコミュニケーションの必要性が高まっています。2回目では医療・福祉分野に従事する方を対象に八代明恵講師の解説のもと、1回目の内容を踏まえながら、話し方だけでなく、読みやすい書体の工夫や文章チェックツールの使い方など、現場で役立つ実践的な方法を学びました。さらに、日本語学習者3名による体験談を通じ、受付時の丁寧語の難しさ、診療手続きの複雑さ、医療機関での配慮の不足など、現場で実際に生じている課題を共有しました。

【主な講座内容】

病院の受付場面を想定した会話練習をはじめ、医療・福祉の現場で使われる専門用語も取り入れた「3文トレーニング」を実施しました。「第三者返答」をテーマにした動画視聴とグループでの意見交換では、同じような経験を持つ参加者も多く、気づきや共感につながりました。

本講座では、参加者同士が互いに学び合える時間を多く設け、特に、日本語学習者のゲストスピーカーがグループワークに加わったことで、当事者の視点から率直な意見を聞くことができ、理解を深める大変貴重な機会となりました。



講師とゲストスピーカーの様子

【参加者の感想など】

「他の医療従事者や異業種の方の意見を聞くことができ、有意義だった」

「外国の方だけでなく、日本の方に接する際にも“やさしい日本語”や“第三者返答”を意識する必要があると気づいた」といった感想が寄せられました。

講座を通して、医療・福祉の現場で求められる“寄り添う姿勢”と“伝わる伝え方”の大切さを改めて意識する機会となり、今後の支援活動につながる学びのある時間となりました。



グループワークの様子

(公財)愛知県国際交流協会 交流共生課 交流共生担当

URL:<https://www2.aia.@ref.aichi.jp>

